



〜 グランプリ・コンサート2023 〜

大阪国際室内楽コンクール 2023 第1部門 弦楽四重奏 第1位

クァルテット・インダコ

その音楽は、花火のように煌めく。



FROM ITALY

QUARTETTO INDACO

ヴァスクス：弦楽四重奏曲第5番

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第10番「ハープ」変ホ長調 作品74

シューベルト：弦楽四重奏曲第14番「死と乙女」ニ短調 D810

2023年

11/14 (火)

開場/18:30
開演/19:00

令和5年度 小林市文化会館自主文化事業

グランプリ・コンサート2023宮崎公演
小林市文化会館

【料金(税込・全席自由)】 一般 ¥ 1,000 (当日 1,500円) 高校生以下 500円(当日 1,000円)

【ご案内・注意事項】 都合により公演内容の一部を変更する場合がございます。未就学児は入場できません。

お問合せ
お申込み

小林市文化会館

9:00-17:00 ※休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)



0984-23-7400

チケット発売開始

8/26(土)

【チケット発売場所】 小林市文化会館・ホームセンターやまさき・生活協同組合コープみやざき小林店・西村楽器小林店・美賞堂

【主催】 小林市・小林市教育委員会・公益財団法人日本室内楽振興財団【後援】 宮崎日日新聞社・エフエム宮崎

【協賛】 大和ハウス工業株式会社【協力】 野村證券株式会社【助成】 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション



Jamjang Samri, viola
シヤンジャン・サンティ
[ヴァイオリン]

Eleonora Matsuno, violin
エレオノラ・マツノ
[ヴァイオリン]

Ida Di Vira, violin
イダ・ディー・ヴィータ
[ヴァイオリン]

Cosimo Carovani, cello
コジモ・カロヴァニ
[チェロ]

グランプリ・コンサート2023

大阪国際室内楽コンクール2023 第1部門 第1位

その音楽は、花火のように煌めく。

クァルテット・インダコ

QUARTETTO INDACO

FROM ITALY

クァルテット・インダコは、今日、同世代のイタリアの弦楽四重奏団の中でも特に注目を集めるアンサンブルであるといなされている。フィエーゾレ音楽院とハノーファー音楽演劇大学(オリバー・ヴィレの指導のもと、室内楽の修士号を取得)を卒業後、キジアーナ音楽院でギュンター・ピヒラーのマスタークラスを受講。2017年にスコッティーズ賞、プレミオ・パオロ・ボルチアーニコンクールでファイナリスト選出、マンハッタン国際コンクールゴールドメダルなど数々の国際的な賞や奨学金を獲得している。“コンパクトなアンサンブルで、エナメル質と高揚感で満ちている”と表現され、クァルテットは、Brilliant Classics、Ema Vinci、ミラノの Sconfinateなどに録音を残している。イタリアの著名な音楽祭や機関に招聘され、ヨーロッパ各地や海外でも定期的に演奏している。

INTERVIEW



完璧を目指すのではなく、詩人として音楽の美を追求する

私たちが音楽を演奏するときに気を付けているのは、良い演奏をするというだけでなく、音楽の中で対話をする、ということです。どうしてクラシック音楽が200年、300年と続いて今このように存在しているのか。もちろん、音楽そのものの美しさもあると思います。それ以外にも、新しく出会う人々との交流、意思疎通を行うことで、音楽が変化して来ている。室内楽、そして弦楽四重奏は、人間味あふれる4人の対話、意思疎通が重要なのです。

そして私たちがすべきことは、完璧なことを目指す、がちがちに固めた何かを提供するのではなく、柔軟的であり詩人として音楽の美を提示していくことであると考えています。

インダコとはすべてを統べる色

インダコとは、インディゴ=藍色です。すべての色を統合したのがインディゴカラーです。音楽にも様々な“色”がありますが、様々なものを混ぜたもの、という意味をあらわす言葉として「インダコ」と名付けました。

小林市文化会館にて開催!!

10月29日(日) 13:00~

11月5日(日) 13:30~

**第46回
小林市民音楽祭**

**第61回
小林市民芸能祭**